

# 第34回 ひな祭り展 出品リスト

令和2年2月1日(土)～3月15日(日)

No.	資料名	制作年	展示場所	備考
1	立ちびな	寛政年間(1789～1801)	企画展示室	寄託資料
2	親王飾りひな人形	明治39(1906)年	企画展示室	平成30年度寄贈
3	親王飾りひな人形	明治期	企画展示室	
4	親王飾りひな人形	大正14(1925)年	企画展示室	
5	源氏粹飾りひな人形	大正～昭和初期	企画展示室	
6	御殿飾りひな人形	昭和5～6(1930～1931)年	企画展示室	
7	御殿飾りひな人形	昭和7～8(1932～1933)年	企画展示室	
8	御殿飾りひな人形	昭和25(1950)年	企画展示室	平成30年度寄贈
9	御殿飾りひな人形	昭和36(1961)年	企画展示室	
10	御殿飾りひな人形	昭和30年代	企画展示室	
11	御殿飾りひな人形	昭和40(1965)年	企画展示室	
12	屏風段飾りひな人形	昭和40(1965)年	企画展示室	7段
13	屏風段飾りひな人形	昭和54(1979)年	企画展示室	7段
14	屏風段飾りひな人形	昭和56(1981)年	企画展示室	7段
15	屏風段飾りひな人形	昭和後期	企画展示室	7段
16	親王飾りひな人形	昭和後期	企画展示室	
17	木目込みひな人形(15人揃)	昭和後期	企画展示室	
18	木目込みひな人形(15人揃)	昭和35(1960)年	企画展示室	ケース入
19	天神飾り	昭和2(1927)年	企画展示室	
20	天神飾り(御殿)	昭和初期	企画展示室	
21	天神飾り(御殿)	昭和初期	企画展示室	
22	天神飾り	不明	企画展示室	
23	天神飾り	昭和57(1982)年	企画展示室	
24	土人形 天神	明治～昭和初期	企画展示室	
25	練人形 赤天神	明治～昭和初期	企画展示室	
26	土人形 高砂(翁・媪)	明治～昭和初期	企画展示室	
27	土人形 内裏雛	明治～昭和初期	企画展示室	
28	土人形 花魁	明治～昭和初期	企画展示室	
29	土人形 傘持ち娘	明治～昭和初期	企画展示室	
30	土人形 浦島太郎	明治～昭和初期	企画展示室	
31	土人形 鯨と童子	明治～昭和初期	企画展示室	
32	土人形 子守り	明治～昭和初期	企画展示室	
33	土人形 源義経	明治～昭和初期	企画展示室	
34	土人形 荒獅子男之助	明治～昭和初期	企画展示室	
35	土人形 扇持ち娘	明治～昭和初期	企画展示室	

No.	資料名	制作年	展示場所	備考
36	土人形 弁慶 (勸進帳)	明治～昭和初期	企画展示室	
37	土人形 太閤と三法師	明治～昭和初期	企画展示室	
38	土人形 恵比須・大黒	明治～昭和初期	企画展示室	
39	土人形 巴御前	明治～昭和初期	企画展示室	
40	土人形 梅王丸・松王丸	明治～昭和初期	企画展示室	
41	御雛軸	昭和初期	企画展示室	
42	御天神軸	昭和初期	企画展示室	
43	押絵ひな 高砂 (翁・媪)	明治期	企画展示室	
44	漆芸雛「佳貴」	平成14(2002)年	企画展示室	輪島塗時絵
45	御雛幟	明治～大正期	企画展示室	
46	田原初凧		企画展示室	田原凧保存会制作
47	屏風段飾りひな人形 (京ひな)	昭和後期	2階ロビー	3段
48	天神飾り	昭和60(1985)年	2階ロビー	
49	つるし飾り、ハスの花細工		企画展示室、 1階ロビーほか	
50	押絵ひな、千支、つるし飾りほか		2階ロビー	福江高校手芸食物部生徒制作
51	親王飾りひな人形	大正7(1918)年	1階ロビー	
52	御殿飾りひな人形	昭和14(1939)年	1階ロビー	
53	御殿飾りひな人形	昭和34(1959)年	1階ロビー	平成30年度寄贈
54	親王飾りひな人形	昭和後期	1階ロビー	
55	木目込みひな人形 (15人揃)	昭和後期	1階ロビー	ケース入
56	天神飾り	昭和初期	1階ロビー	
57	ケース入り天神人形	昭和初期	1階ロビー	
58	屏風段飾りひな人形	昭和後期	1階ロビー	7段
59	屏風段飾りひな人形	昭和60(1985)年	1階ロビー	7段
60	ケース入り三月人形 汐汲	昭和後期	1階ロビー	

田原市博物館平常展「ひな人形と初凧展」開催 展示期間：2月8日(土)～3月22日(日)  
観覧料：一般310円 小中学生以下無料

\*「福江・つるし飾りロード」開催 展示期間：2月19日(水)～3月18日(水) 観覧無料

### ごあいさつ

本展は、昭和62(1987)年の開催以来毎年開催しています。この間に寄せられました皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

この展示会は、江戸から平成にかけてのひな人形を通じて、その時代や風俗の一端を垣間見ることが目的に開催しています。明治から大正時代にかけては、土人形から男ひな、女ひなが一對となった衣裳飾りの内裏ひな人形(親王飾り)に移り変わる時期であり、昭和の前半には、御殿飾りのひな人形が登場し、そして現在の屏風段飾りひな人形へと移ってまいりました。

様々なひな人形の展覧を楽しくご覧いただけますと共に、それぞれの人形が飾られた時代に思いを寄せていただければ幸いです。最後になりましたが、これまでの展示会開催にあたり、ご愛蔵のひな人形をご寄贈いただきました方々、ご指導・ご協力を賜りました方々に厚く御礼を申し上げます。